

<p>件 名</p>	<p>堺市文化観光拠点整備事業 基本計画（案）の策定について</p>
<p>経過・現状 政策課題</p>	<p>【整備の目的】 ○ 旧市立堺病院跡地において、堺の特色ある文化を振興し、観光集客に資するため、千利休屋敷跡に隣接し、また与謝野晶子生家跡に近接するという立地特性を活かした、千利休、与謝野晶子をテーマとする2つの文化施設、及び堺観光の玄関口としての観光案内施設や交通ターミナル機能などからなる「文化観光拠点」を形成する。 ○ これらの施設を中核として、市域内の集客資源等を結ぶ堺観光ネットワークを構築し、市内周遊への誘導を図るとともに、まちの賑わい創出と都市活力の向上に寄与する。</p> <p>【経過】 平成20年7月 整備方針（案）公表、パブリックコメントの実施 平成20年度～21年度 経済情勢の悪化により、民間事業者の公募など事業着手に至らず 平成22年2月 民間事業者に対し、事業参画が可能な条件等の把握のための意見募集を実施 整備方針（案）に示した民間施設（宿泊・飲食・物販）について、市が求める機能をすべて満たした提案はなし 平成23年1月 新たな整備方針（基本構想）公表 （施設整備の手法の見直し） ＊文化観光拠点の中核となる2つの文化施設、観光案内施設、駐車場（交通ターミナル）機能について、公共において先行して整備着手 ＊飲食等の来訪者サービス機能は、民間事業者の進出意向等を勘案して、段階的に土地利用を推進</p> <p>【課題】 ○文化観光拠点において整備する具体的な機能や施設内容・規模のほか、土地利用、アクセス導線などの方針の策定 ○文化観光拠点を中心として、市内観光周遊を誘導するための周辺地域との観光ネットワーク形成、まちづくりとの関係などの考え方の整理 ○公共において整備する施設及び展示の設計 ○民間事業者の進出意向調査及び条件検討</p>
<p>対応方針 今後の取組（案）</p>	<p>【堺市文化観光拠点整備事業 基本計画（案）の概要】 1. 整備の基本方針 (1) 全体コンセプト 主に中世から近代にかけての歴史や文化など多様な“堺らしさ”が集約・再生された、この地ゆかりの文化施設を中核とする都市魅力の創造・発信及び堺観光への誘客につながる拠点を整備する。 (2) 整備する機能 ＊堺の歴史文化に触れる文化機能（千利休・茶の湯関連施設、与謝野晶子顕彰施設） ＊堺観光への導入・案内施設（観光案内施設） ＊交通関連機能（交通ターミナル、駐車場、駐輪場） ＊来訪者サービス機能（飲食施設等） (3) 観光ネットワークの構築 文化観光拠点の計画地が、観光資源とのネットワーク化が容易であること、鉄軌道や自動車を利用したアクセスが容易であることなど、立地条件の特性を活かして、市内の観光</p>

エリアや観光資源を結ぶ観光ネットワークの構築を進める。

2. 整備する施設

(1) 公共施設

①千利休・茶の湯関連施設

*千利休を通して、中世・堺のイメージと都市文化を発信する施設

*利休屋敷跡を活かした茶の湯文化発祥の地としての堺の位置を明確にし、文化的魅力を発信する施設

②与謝野晶子顕彰施設

*与謝野晶子の生涯や現代にも通じる晶子のメッセージを現代・未来に継承する施設

*与謝野晶子や堺の近代の歴史とまちを紹介し、来訪者を市内周遊に誘導する施設

*与謝野晶子顕彰の拠点として、国内外から多くの人が集い交流する施設

③観光案内施設

*市内観光の基本情報を提供する施設

*堺の歴史・文化に関する情報を提供し、堺の観光イメージを創出する施設

*人（観光ボランティア等）による案内をする施設

④交通関連施設

*交通ターミナル

*仁徳陵古墳をはじめ百舌鳥古墳群等の市内広域周遊の発着点

*パーク&ライドの結節点

*観光バス2台程度が停留できるバースの整備

⑤駐車場

*観光バス駐車場6台程度

*自家用車駐車場100台程度

⑥コミュニティサイクルポート

(2) 民間施設

①来訪者サービス機能

*文化施設の来館者、観光客等のニーズにあった飲食施設

*その他、物販など施設目的に適合したサービス施設

3. 各施設の敷地面積の目安

施設	敷地面積（想定）
千利休・茶の湯関連施設	3,500㎡
与謝野晶子顕彰施設	
観光案内施設	
交通関連施設	3,500㎡
共用空間（広場など）	1,000㎡
来訪者サービス施設	3,000㎡
合計	11,000㎡

【スケジュール（予定）】

平成23年5月～	基本計画（案）策定・パブリックコメント実施
7月	基本計画の策定
12月	公共施設の設計、展示の設計（～平成24年度）
平成24年度以降	民間事業者の公募
平成25年度	公共施設の着工
平成26年度	公共施設竣工・開設

	<p>【参考】 暫定利用（駐車場・観光案内所・トイレ設置） 事業</p> <p>旧堺病院跡地での文化観光拠点の整備にあたって、当該施設が整備されるまでの間、堺市への来訪者等に対して、文化観光拠点で整備予定の駐車場、トイレ、観光案内など一部機能を暫定的に導入する。これにより、文化観光拠点の形成に向けて、戦略的・先導的に市内周遊のための観光ネットワーク形成を促進し、当該拠点だけでなく堺市全体の観光機能の向上に寄与する。</p> <p>○整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> *暫定駐車場事業（民間事業者による整備運営） <ul style="list-style-type: none"> 観光バス 5台必置、自家用車 65台必置 *観光案内所・トイレ設置 <ul style="list-style-type: none"> 観光案内所：観光案内及びレンタサイクル貸し出し トイレ：男性用、女性用、身体障害者用トイレを整備 <p>○供用開始（予定）</p> <p>駐車場事業 平成23年9月、観光案内所・トイレ 平成24年1月</p>				
<p>効果の想定</p>	<p>(文化観光拠点の利用者数想定)</p> <table border="1" data-bbox="379 819 1369 987"> <tr> <td>文化観光拠点全体</td> <td>15万人～20万人</td> </tr> <tr> <td>文化施設</td> <td>千利休・茶の湯関連施設 3万人～5万人 茶の湯体験 2万人～3万人 与謝野晶子顕彰施設 2万人～3万人</td> </tr> </table> <p>*市域内の観光・集客資源等を結ぶ観光ネットワークを構築することで、市内周遊への誘導を図ることができる。</p> <p>*阪堺線沿線や中心市街地の活性化の取り組みと連携することにより、相乗的に賑わい創出や都市魅力の向上に寄与できる。</p>	文化観光拠点全体	15万人～20万人	文化施設	千利休・茶の湯関連施設 3万人～5万人 茶の湯体験 2万人～3万人 与謝野晶子顕彰施設 2万人～3万人
文化観光拠点全体	15万人～20万人				
文化施設	千利休・茶の湯関連施設 3万人～5万人 茶の湯体験 2万人～3万人 与謝野晶子顕彰施設 2万人～3万人				
<p>関係局との政策連携</p>	<p>文化観光局（博物館、世界文化遺産推進室）、建築都市局、建設局 ほか</p>				